

波 紋

1991 9 第75号

地球環境と塩ビ……

私が森松に入社してビニールのことをたくさん教わりました。今はもう一年半ビニールとかかわってききましたが、もう一度ビニールのことを考えてみようと思いました。

今、環境問題がうわぎになっていますが、その原因が、「塩ビを焼くと塩化水素ガスが発生し大気汚染や酸性雨の原因となっている」と心配されがちですが、それは大きな間違いで、塩ビ製品以外の都市ゴミを焼却すると紙や草木、生ゴミ、皮革からも塩化水素ガスが発生するので、環境問題は塩ビだけではなくごみ全体の問題ということがわかりました。

今の世の中生活の中でかかせない物が塩ビ製品です。新しい製品もたくさんでまわって、とても住みやすいです。塩ビ製品は、衛生面や安全性、耐腐食性などの優れた特長から、利用範囲は驚くほど広く、医療用にも使われているということから安全性を示すことがわかりました。塩ビには火が付きにくく、燃えにくいという性質もあり、建材や電線に塩ビが多く使われるのは、こうした自己消火栓があるから、アメリカなどでは塩ビが建材としてたくさん使われるようになってきました。日本もこれからますます塩ビが広い範囲で使われていくと思います。そのためにはたくさんの人に塩ビの良さをわかってもらわなければいけないと思います。

塩ビ製品の中に塩ビモノマーというのがあってそれが人間の中に入り、ガンになったりするのでは？などと思う人もいます。と思いますが前にもいいましたが、塩ビは安全であるということを知ってほしいです。間違いされがちな塩ビは、誤解をよけ、これからますます増えていくと思えました。

大 岩 美 花



『交 差 点』

「株屋と金貸屋」

株屋さんと金貸屋さんが大変な目に合っている。証券業界も銀行も、物を造るメーカーと違うはずなのに、定期証書や補償書をたくさん作りすぎて困っている。

世間は広いなあ、自分が井の中の蛙だと再確認しました。

又、個人に50億も500億円もお金を貸す一流銀行もあるという株は、そのくらい魅力があり、株の売買はそのくらい利益がある商売だと言う事でしょうか。

商売というより、バクチに近いと思う。実際、普通に物を生産・加工して売ってもそんなにも利益は出ないと思うけど……

金融業界は、儲けになればどんな事でも金を出してくれ、いろいろアドバイスをしてくれる業界だとみえる。

そんな事を思いつつ高校野球を見ていたら、夏休みも後半に入っていた。今年も過去最長の連休でした。来年は方法を変え、6・7・8月中旬に10日間程、自由な日程で休暇を取る事にしたらどうでしょう、同じ予算で2倍楽しく過ごせる休暇を皆さんで計画して下さい。 森 信之

トシ君の一方通行

8月16日の盆休み、事情があつて、市役所に家族と姪で行きました。地下鉄（ホーム）で、全盲の若い人が大きな声で「すみません」と、言っています。我が家の子供達が目にとめました。

「どうしたんですか」と、問い掛けましたら「国立病院へ行く」という。

その時点で私のシャツを掴んで放しません。案内をしてあげる事にしました。家族にはここで待てと言つたんですが、長男と次男はついてきます。杖を持っていますが、慣れていない様子。聞いてみれば、不自由なのは目だけじゃなく、あちこち手術をしてロクに外出していないとか……。

国立病院の前まで案内して、教えてあげても私のシャツを放さない。仕方ないから受け付まで案内しました。ところが、受け付けがイロイロあつて分からない。だから症状まで聞いて案内しました。別れ際にバイと言つてさようならをしましたが、子供達は何も言いませんでした。

言わなくても分かるでしょう。自分達は健康で、その健康さが如何に恵まれているという事を。

木村 英利

森松クインテット

中日ドラゴンズファン

いよいよプロ野球も終盤となり、今年の中日は3年振りに優勝の勢いである。

巷でも中日優勝の確率は60〜70%だなんてささやかれている。

中日ファンの私としては大変楽しみなシーズンである。

しかし、終盤戦になると、優勝という目標を失つたチームが無気力な試合をしている様子は実に寂しく情けない感じがします。

130試合を消化しなければシーズンを終了できないから、ただ義務的に仕方なく野球をするとなれば選手も気の毒です。

私たちの日々の仕事や生活も同じことが言えると思います。

常に目標を持ちその目標に向つて努力・前進していきたいものです。と、中日・巨人戦のラジオを聞きながらこの原稿を書いていたら、9回ウラ巨人岡崎選手の三振・振り逃げのあと駒田選手のサヨナラ2ランホームランがでて4対3で中日のサヨナラ負けとなりました。

どうなつとるんだ中日は！
いやいや冷静に冷静に今年は中日が優勝します。

稲葉 友昭

喜怒哀楽

私は、ゴルフを始めてかれこれ5年位になりますが……

ゴルフがこんなにおもしろいものだとは、知りませんでした、一人でやるスポーツですから自分の本当の力量がもろに現われるスポーツです。

技術もさる事ながら精神面での競技であると思う。私が思うに弓道や射撃に良く似ている。結果の良し悪しよりも自分自身納得の出来る要するに思い通りのボールをどれだけたくさん打てるかによってその日のゴルフが楽しいか楽しくないかが決る。もちろん天候にも左右される。またこういう楽しみ方もある。この楽しみ方は、初心者にならず、経験豊富な先輩の方に、見られる楽しみ方である。

それは、言葉によって相手を動揺させるやり方である。ゴルフは4名一組で、18ホールを回る。歩く距離にして約10kmその間自分自身との戦いの他に3人の敵が常に周りにいる。まあこの敵が、手強くてなかなか冷静にはならしてくれない。結局自分がプレッシャーに弱いだけなのだが、冷静さを無くす事をよく、「ブツツンする」と言うが、18ホールを回る中で2〜3回多い時は、5〜6回。酷いと、最初のティショットからという時もある。もうこうなると、練習量の多少は関係無くなる。その人間の信念、自信が多いにものというスポーツである。私は思う。如何せんお金のたくさん出ないが、スコアでも精神面でも強いプレーヤーになれるよう、これからはもなばつてゆくつもりだ。嫁さんの協力を心寄ります。

西田 聖一

社員特別寄稿

私は、「松下幸之助 日々のことば」という本を読みました。今日までの歩みの中で口にし、訴えてきたことの中から、短い言葉を一冊にまとめたものです。

一通り読んでみて、まず感じたことは「よくこれだけの説得力のある言葉が言えるものだ。」ということでした。ただただ、「鋭い感性の持ち主だな」と感じました。

それと、この中で随所に「素直」「謙虚」という言葉が使われており印象に残っています。「素直な心」と「謙虚な心」を大切にしている事も感じられました。

体験を通じて身についたものは、その人だけに与えられた何にもまさる宝である。という言葉でもわかるように、体験無くしては語れないと思います。

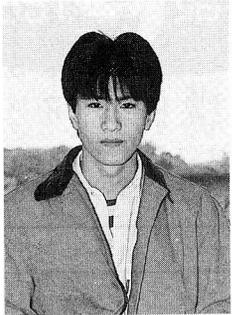
「人生」「仕事」「商売」「経営」の分野をおもに、難しく考えさせられるものもたくさんありました。その言葉の全てに共通するものがありました。

それは、「プラス思考」です。全て、いい方向へと考えていると感じました。

最後に、私が一番感動した言葉を紹介します。「事業の原点とは、どうしたら売れるかではなく、どうしたら喜んで買ってもらえるかである。」

この言葉が、事業のすべてではないかと思いました。

今回の読書で、松下幸之助という人物の素晴らしさを学びました。



高橋 武夫

社内でごんな事をしています……

英会話について……

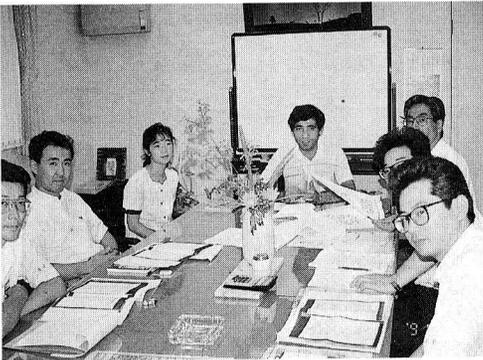
毎週一回の英会話が始まりました。ABC Dとクラスが分かれて一クラス5人となつています。

私は、Dクラスで女性5人で毎週月曜日に一時間半行っています。私は学生の頃から英語は大の苦手で、こんな私が「英語を習いたい」と自分から言い出すとは思ってもみませんでした。大きな理由として、この森松全体が英語の勉強に真剣に取り組んでいるからと言えます。

私は、英語嫌いから英語好きへ変わりつつある自分を大切に、これから習い続けて行きたいです。

この森松の英会話は、楽しく、詳しく、習えます。自分の意志でやる気で習うと決心した事です。途中で苦しくなっても、後悔しない様に頑張つて行きたいと思っています。

近藤 珠美



お茶・お花……

少し前から森松女子社員の間で、はやりの習い事があります。それは、一週間おき、月二回づつの茶道（裏千家）、華道（池ノ坊）の二教室です。

習い始めて、もうすぐ半年となりますが、当初、お華では、花材を短く切りすぎて、先生の修正不可能となつてしまつたり、お茶はお茶で、お茶碗を右手で置いてと、先生がいつているのに左手や両手で置いたりとなつていきましたが、今では、なんとかさまになつてきました。

毎回のお菓子を楽しみに、休まずお茶のお稽古に参加しているのは、私一人ではないと思います。また、

先生の希望では、来年あたり森松で華展やお茶会ができたと言われています。

みなさん今宜しくお待ち下さい。森松女子社員、びっくりするほどおしとやかな女性に、変身できるはずですよ……

岩田 ひとみ



今月の社内行事

9月5日

Y・M・S

十八時半より

4 F

6日

加藤先生来社

14日

第二土曜日休み

15日

敬老の日

16日

振替休日

23日

秋分の日

24日

生産会議

十八時より

25日

営業会議

十八時半より

4 F

26日

経営会議

十八時より

4 F

27日

F・M・S

十八時より

28日

第四土曜日休み

30日

幹部会

七時半より

森松株式会社 決算

暮らしのエッセイ

「高校野球」

毎年、この時期になると甲子園で高校野球の全国大会が開催されます。日本人の誰もが夢中になり、ただのスポーツ大会というよりは、夏の風物詩の一つと考えられています。私も好きでテレビで見えています。選手たちがプレーしている姿は、実にいいものだと思いますし、やはりスポーツというものは、すばらしいものだと思えます。

しかし、高校野球には、野蛮な側面があると言えるものであります。選手が全員、坊主頭にして、審判が首をかき上げたくなるような判定を下しても抗議は絶対しない。多くの人たちは、それが高校生らしく、さわやかだと思いついでいることがある。そして、8月の大阪という蒸し風呂のような暑い場所で行なわれ、準々決勝以降、エース・ピッチャーが連投で肩や腕を酷使しなければならぬような試合の組み方、これらは、昔から変わることなく伝統のように考えられているが、この大会が、選手のためにあるのではなく、高野連のためにやっているかのように思われます。この伝統行事の悪い面を改善してもいいと思います。みなさんはどう思います。

柴田典仁



クイズコーナー

春 脳 災 □ 楠 針 型

空欄の中には、何が入るでしょう。

編集後記

あつと言う間に、お盆休みも終わってしまいました。みなさんは、有意義な休みを過ごさず事ができましたでしょうか？

前より増して、前後の区別がつかない人もいますようです。

私は、毎年二・三回海へ出かけますが、今年は一歩しか行けなかったのが、残念ですが、去年とは違う事にチャレンジできたので、自分では、良い休暇であったと思っております。

まだまだ暑い日は続きますが、あと一歩で生活しやすい、また、仕事のバリバリできる秋がきます。

最後まで、夏バテしないように、気をつけて下さい。

岩田ひとみ

編集発行者
森松株式会社

発行責任者

伊 東 郁 二

平成3年9月1日
第75号